

平成 25 年度 決算の主な事業内容について

◎重点項目

「安全・安心な暮らしの確保」
「高度で良好な生活圏の形成」
「子育て・教育環境の充実」
「魅力・活力ある地域づくり」

【安全・安心な暮らしの確保】

- ・北播磨総合医療センターの整備 25 億 7,064 万円

建設工事（総工費約 198 億円）が完了し、
平成 25 年 10 月にオープン。
運営にかかる経費は小野市：三木市 = 4：6 で負担。
建設にかかる経費は小野市と三木市で折半して負担。

- ・防災センターの建設 13 億 5,736 万円

防災対策の拠点となる防災センターを建設。
規模…免震構造 3 階建て、延床面積：約 3,000 m²
機能…災害対策本部、高機能指令センター、救急デジタル
無線など

- ・浄谷黒川丘陵地整備事業 2,217 万円

浄谷黒川丘陵地内で、災害時広域避難所や復興拠点機能を有する「多目的運動広場」の整備に着手。総事業費約 9 億円。

- ・コミュニティバス運行 5,733 万円
- ・安全安心パトロール～栗田橋迂回路安全対策も実施～ 4,924 万円
- ・通学路安全対策強化（路肩カラー化、歩道新設） 3,710 万円
- ・防災備蓄倉庫（河合小、来住小）及び防災資機材整備 1,129 万円
- ・防犯灯 LED 化促進補助など 490 万円

【高度で良好な生活圏の形成】

- ・ 新都市中央線の整備 2億6,001万円

橋脚工事（2基）や北播磨総合医療センターまでの歩道、道路照明灯等の整備を実施。

- ・ 道路および橋梁の緊急修繕及び点検調査 2億1,818万円

公共インフラの老朽化による事故防止や長寿命化対策として、緊急的に大規模な修繕と点検を実施。

- ・ 大池総合公園の整備（テニスコート、トイレ、水辺広場等） 1億1,385万円

テニスコート、トイレの全面改修に加え、東側水辺広場の修景整備も実施。

- ・ 黒川西土地区画整理 6,312万円

H22年～H26年で黒川西地区の住環境を整備。
H25年度は道路舗装、上水道工事等を実施。

- ・ 農村総合整備「ひまわりの里小野2期」 5,411万円

5年計画で市内の農道舗装や農業用水路の改修等を実施。

- ・ 商店街アーケード等の改修 4,700万円

公共性の高い商店街通りのアーケード改修を助成し、更なるにぎわいづくりに寄与する。

- ・ 太陽光発電設備設置助成 1,330万円

太陽光発電設備の設置費用の一部を助成。
市内業者による設置 5万円/kwh（上限 20万円）
市外業者による設置 3.5万円/kwh（上限 10万円）
助成実績：120件

- ・ 神戸電鉄粟生線の維持支援 運営支援 1,287万円

・ 中心市街地まちづくり整備（小野高校前市道 1102 号線）	2,738 万円
・ 一般道路整備（5ヶ年計画の4年目）	8,193 万円
・ 市道 1 0 3 1 号線整備（黒川町）	3,672 万円
・ 市道 2 1 5 号線整備（中谷町）	2,222 万円
・ 市道 2 2 5 2 号線整備（河合西町）	2,202 万円
・ 市営住宅の長寿命化対策	1,258 万円
・ 公園長寿命化計画の策定	1,111 万円

【子育て・教育環境の充実】

- ・小野東小学校の校舎耐震・大規模改造、体育館改築 9億530万円

総事業費約11億8千万円で校舎の耐震を含む大規模改修を実施。避難所機能を兼ねる体育館についても改築。これにより、市内すべての小中学校で耐震化が完了。

- ・小・中学校の空調施設整備 5,685万円

教室増などに伴い空調施設を増設。

※H22～H23年にかけて全学校・園に空調設備を導入済
(287教室：総額約3億9千万円)

- ・全中学校のパソコン教室機器更新 5,030万円

全中学校のパソコン教室の設備一式を更新。

小学校も順次更新予定。

- ・中学校3年生までの医療費完全無料化 2億3,501万円

中学校3年生までの医療費の完全無料化を継続し、子育て家庭を支援。(所得制限なし)

- ・妊婦健診費、特定不妊・不育症治療費への助成 2,992万円

妊娠・出産にかかる幅広い支援を行うため、妊婦健診費をはじめ、特定不妊治療費や、不育症治療費にも助成。

実績：妊婦健診 656件、特定不妊治療 延 47件、不育症治療 5人

- ・保育所施設の整備助成 3,248万円

中央保育所と北辰保育園の園舎や遊戯室等の改修を助成。

- ・児童手当の支給 9億3,223万円

- ・アフタースクール子ども育成事業～土曜日開所をスタート～ 3,731万円

- ・ハートフルチャレンジ(漢字・計算・英語・体力) 1,074万円

- ・乳幼児の健康診査、教室、相談～5歳児発達相談を開始～ 699万円

- ・風疹予防接種費への市独自助成 184万円

【魅力・活力ある地域づくり】

- ・ 下東条地域交流施設の整備 1 億 3,127 万円

下東条地区における市民の地域活動拠点として、市内で7つ目のコミュニティレストランとなる「誉田の館いろどり」が3月にオープン。

- ・ 市民交流ホールの整備（うるおい交流館の増設） 3 億 9,079 万円

大規模な会議や式典など多目的な用途に対応可能なホールを整備。鉄骨造、平屋建て（一部2階建て）、延床面積：約1,400㎡、総工費約4.4億円。

- ・ 高齢者等地域活動拠点づくり事業 1,576 万円

自治会館等を活用した高齢者や子ども等の居場所づくりを助成。

地域活動拠点づくりへの補助（備品等） 20 万円

地域活動拠点施設整備への補助（バリアフリー化等） 180 万円

助成実績：H25 9 拠点、H24 20 拠点、H23 18 拠点

- ・ 女性参画の推進（自治会など） 235 万円

自治会役員への女性登用を促進するための補助金制度をスタート。14自治会への交付を実施。

その他、4年に1度の女性議会を開催。

- ・ コミュニティ活動推進事業 2,100 万円

市内6地区の各地域づくり協議会の活動を補助。

（年間300万円、小野地区は600万円）。

- ・ うるおい交流館の管理運営 1 億 2,798 万円
- ・ 小野まつり開催補助 4,250 万円
- ・ 国際交流事業～姉妹都市提携40周年記念～ 1,007 万円